

第3回たかつき環境市民会議の結果あらまし

日 時：2003年9月7日(日) 14:00～17:05

場 所：高槻市総合センター14階 C-1401

出席者：60名(事務局を含むと65名)

- ・ 一般会員：44名
- ・ 企画委員：14名
- ・ 当日参加者：2名
- ・ 事務局：5名

内 容

開 会 (14:05～)

- ・ 司会(企画委員：中山)

1. この間の経過について(14:10～14:20)

- ・ 昨年12月に開催された第2回市民会議以降の、企画会議の経過について、プレスグループより説明がありました(企画会議の開催日程経過は、当日配付資料P.2～3参照)。

2. グループ活動報告(14:20～16:20)

- ・ グループ活動報告について、途中10分間の休憩をはさみ、10のグループから各10分ずつ、資料やパワーポイント等を用いて発表がありました(当日配付資料P.4～22参照)。

3. 意見交換会(16:25～17:05)

- ・ 司会(一般会員：浜田)
- ・ 各グループへの質問や意見・提案、市民会議全体について意見交換がされました。

<おもな発言>

エコビレッジグループのイラスト(当日配付資料P.15)の説明をしてほしい。

メンバーでエコビレッジについて議論し合って描いた、現段階におけるメンバー内でのエコビレッジの共通的・網羅的なイメージ(たたき台)

水グループ、里山グループともに、調査をされて現場情報を集めておられることに感銘を受けた。2つのグループは関連も深いので連携もされたらどうか。

環境家計簿グループは家庭に注目し、環境講座グループは子どもに注目して、熱心に活動されていることに感銘を受けた。この2つのグループもうまく連携されたらどうか。

「キッズISO」というプログラムも開発されているので参考にされたらどうか。

エコビレッジグループについて、関連する研究者として京大名誉教授である内藤先生がおられる。アクセスされたらどうか。

ごみ減量グループについて、堆肥の使い道をどのように考えておられるか?

まだ具体的な方法については考えていないが、堆肥をつくる人とほしい人の仲立ちを

グループでできればと思う。

家庭の生ごみ処理の方法について、堆肥にする方法、消滅させる方法などがあり、それを住民にPRして、各家庭の実情に応じて選んでもらうような取組もしたいと考えている。

いろいろな方法を試す中で、課題も明らかになって来る。やり続けていくことが大切だと思う。

人にやさしい交通グループは、内容の性格上、行政と関係する部分が特に多い。環境基本計画の目標を効率的に達成するためにも、行政との「協働」が必要である。そのためにも、市民と行政との協働のルールづくりや、役割分担の明確化、行政からの情報公開が求められるのではないかと。

自立した市民があって初めて行政と協働できる。そのためにもグループ活動で具体的に実績を積んだ上で提案していくことが必要ではないか。企画会議に対しては、各グループ活動を活発に進めるために、全体で考えてほしいことを提案してほしい。

「協働」の形は、人それぞれ。60人いれば60通りある。市民が主導的な協働もあるし、行政が主導する協働もある。逆に対等な協働もあるかもしれない。具体的な活動の中で深めていくしかないのではないかと。

高槻市も、市民で構成される懇話会報告を受けて、「市民公益活動推進指針」を策定している(H15.6)。この中にも「協働の原則」の記述がある。これらも読む必要がある。市民会議はまだできたばかりで、グループ活動が定着していないところもある。会員の登録を増やすことに力を入れるべきではないかと。

「市民会議ができた」ということ自体ありがたい。協働は相手がある話で、方向が間違っていなければ、相手の思惑に乗って、その中で自分のできることを探っていくことも大切。そういう意味では「対立」ではなく「協力関係」が重要。

市民グループでバリアフリーマップをつくっている。その活動を通して、道路整備などの面で行政に言いたいこともたくさん出てくるが、まずは自分たちができていることをやっている。その上で提案もしていく。活動を通して、人との連携や他の市の市民などとのネットワークも広がってきた。それらを力にしてさらに活動を広げていくことが、行政との協働にもつながると思う。

情報については、行政が一方向的に大量の情報を持っているわけではなく、逆に市民が持っていたり、市民の方が集めやすい情報や、現地調査などで得られる情報もある。それらお互いの情報ストックを活かすようにしたい。

閉 会

アンケート調査結果の概要

- ・市民会議当日、グループ活動に対する質問や意見、全体に対する感想などを問うアンケート調査を行った。
- ・回収数：13通

おもな結果

第3回市民会議の感想、意見

<全体>

- ・各グループとも期間と回数をかけ活動に取り組まれている状況がよくわかった。(同様3通)
- ・各グループの推進状況が良く判った。若干の進度バラツキはあるが、各グループともに現状把握を終わり、課題がまとめ目標(方策)ができ、これから成果につながる時期。
- ・少し方針ができたグループ、そうでないグループ色々あることがわかった。
- ・本日の様な全体会議はお互いに顔を見ながらやれるので意義がある。
- ・グループ間の連携や交流機会が図れるような会合になれば更に良かったと思う。
- ・次回は、環境会議の進行状況を明確に評価と反省を行い、今後につなげては(目標に対しての進行度チェック、見直しチェック)。
- ・第2部については、進行役が自分の意見を言うのはおかしいと思う。他の人の意見を多く聞くように進行するのが役目ではないか。

<発表方法に関する意見>

- ・スライドの活用(OHP)は有効でした。
- ・発表スタイルが各グループ間で一定でなく、次回からはパワーポイントなど形式を整えて頂ければと考えます。
- ・発表時の画面表示で、写真が暗かったりサイズが小さかったりで少し見にくかった。

<時間に関する意見>

- ・ポスターセッションの時間をもっと設けて欲しかった。
- ・各々のグループは大変興味深かったが、短時間のため、質問するまでには至らなかった。

市民会議の体制、LA21に関する意見

- ・ローカルアジェンダにどうまとめていくのかまだ模索段階ではないか。時間もない中で、企画会議で積極的に方向づけをしてはどうか。
- ・全体をまとめる指針が必要と思う。
- ・行政とかかわるものもあり、その対応が必要。これは市民会議全体として働きかけるべき。
- ・各グループ活動の進展は心強いが、ローカルアジェンダに本当に結びつくのか心配。
- ・ローカルアジェンダ21について全く手がついていないという事が言われたが、来年3月末までに作成出来るのか。たかつき環境市民会議の本来の目的からは外れているのではないか。
- ・企画委員と一般会員の取り組み方の違いを感じる。

グループ活動に関する感想、意見

- ・TV等で地球環境問題について取り上げられている。その良い所をたくさん取り入れて、現在の活動と平行しながら利用する事も一つの方法だと思う。
- ・日常的に各グループ間の情報が入手できるようなシステムがほしい。メールの活用。
- ・グループ活動をよりスムーズに行動に移すため、情報収集が必要だが、自分達だけでは困難な事もある。行政内においても、しっかりと情報公開、協力体制に取り組んでほしい。
- ・荒木ビルの積極的に活用してはどうか（Gの活動がわかる様に資料やパネルの展示等）。
- ・初めは150名程度であったようだが、どのグループも人数不足なのは残念。活動日時が平日の夜が多いのも一因ではないか。若い人の発想などもたくさん出て来てほしい。

【ごみ減量】【エコ事業所】【オリジナルバッグ】【環境家計簿】共通の課題がいくつかあり、合同で課題別会議をもってみてもよいのでは。

【里山】里山というよりは、「緑」をテーマとしたグループ活動のように感じた。今後は高槻の「緑」について行動するのでしょうか。里山であれば「エコレッジ」と共同ですすめてはどうか。「緑」と「水」の共同もあり。

【オリジナルマイバッグ】マイバッグ運動（積立金）から社会貢献へすすめていくことが出来れば（システムの構築）素晴らしいと思う。

【環境講座】

- ・石井さんの話は感激しました。今後のご活躍をお祈りしております。
- ・子供を対象にした事は大変良いことと思う。今後も輪を広げて活動してほしい。

【エコビレッジ】フィールドを特定して、そこをどのように活用していくのか？今ある田舎（いわゆる里山）をどのようにしていくのか（変えようとするのか）がわからない。昔の知恵を知ることが高槻の環境配慮型社会を目指そうとしているのか。

【ごみ減量】

- ・ごみ減量Gは、高槻市の現状における課題や問題点への言及がなかったのは残念。
- ・家庭ゴミの減量にスーパーなどのプラスチックトレーの廃止が役立つと思う（企業ではなかなかふみきれないと思われるので業界に働きかけてみられたら如何？）
- ・生ごみの処理法として嫌気性微生物を利用してメタンガスをつくり、これをエコビレッジにおいてコジェネレーション発電に活用する方法もあり得ると考えます。当然行政がこれを採用してもらうことが前提となりますが。
- ・ごみ減量化2001年度比の30%は、現在2003年比にすると60%ぐらいにならないか？市生ごみ減量補助金で、電気方式の場合、最高25,000円/台ですが、1戸3,000円の補助金にすると、8.1戸分となる。市民が平等となるよう、税金の使い方を再検討下さい。

【交通】よくわからないが、行政に提案するのであれば、まず環境政策課に提案できる内容で整理すべきではないでしょうか。サイクリング道を探すのは面白いと思う。